

## 国際儀礼の基本講座 ～その3～

平成22年3月  
地方連携推進室 杉田明子

Q パーティーにはどのような服装を着るのが適当ですか？

A 【ワンポイント・アドバイス】パーティーでは服装の指定があればそれに従います。指定がない場合、男性はビジネススーツ、女性はデイドレスが基本です。デイドレスとは、普通丈のスーツ、ワンピース、アンサンブルなどのことです。また、あらたまった席では、男性はチャコールグレーまたはミッドナイトブルーのスーツ（ダークスーツ）、女性は落ち着いた色のスーツ、または絹や絹の風合いのワンピースを着ることが望ましいとされています。

【解説】パーティーなどの社交の場にどのような服装を着ていくか、誰しも一度ならず迷ったことがあると思います。男性であれば、スーツやネクタイの色、女性であれば、服の素材や丈の長さなどで、場違いな経験をされた方もいると思います。

基本的な考え方は、服装指定があればそれに従うのですが、特に指定がない場合は、男性はビジネススーツ、女性はデイドレスでよいと考えられます。

服装選びには、以下の点に気を配ってみましょう。

○あらたまった席では、ダークスーツ

男性は、服装の指定がなければビジネススーツを着用します。スーツやネクタイの色は自由ですが、特にあらたまった席では、昼夜問わずダークスーツを着用します。ダークスーツの色は、無地または無地に近い柄で、チャコールグレーまたはミッドナイトブルーとするのが基本です。夜はミッドナイトブルーが室内の照明で黒よりも黒く見えることから、品格のある夜の装いとしてお薦めです。ダークスーツにお薦めするコーディネイトは、ダブルカフスの白シャツとシルバーグレー系のネクタイですが、シャツもネクタイも自由に選んでかまいません。

○昼の礼装と夜の礼装

モーニングコート、ブラックタイ、ホワイトタイは、その指定がある場合に着用します。

モーニングコートは昼の正礼装とも言われ、日中に着用します。一方、ブラ

ックタイ（別名タキシード）は夜の準礼装とも言われ、夕方以降に着用します。なお、夜の正礼装であるホワイトタイ（別名燕尾服）は、場合によっては日中の公式な行事に着用することもあります。

#### ○女性のデイドレス

デイドレスとは、普通丈のスーツ、ワンピース、アンサンブルなどのことです。襟元があまり開いておらず、袖も長袖か7－8分袖などで、肌を露出するような形を避けます。また、日中はきらきら光る宝石やラメなどの光る素材の服や小物を身につけないようにします。

色は自由ですが、結婚式では花嫁と同じ白一色を避けること、また弔事以外の行事では黒一色を避けることが無難です。

#### ○女性の夜の正礼装と準礼装

ロングイブニングドレスとセミイブニングドレスは、それぞれロングドレスの指定がある場合に着用します。

ロングイブニングドレスは、夜の正礼装とも言われ、丈はフロア丈またはヒール丈、色は自由ですが無地が正式、素材はラメ、ブロケート、サテン、ベルベット、タフタなどが好ましいとされています。襟が大きく開いた袖無しのローブデコルテは最も正式なものです。

セミイブニングドレスは、夜の準礼装とも言われ、アンクル丈またはヒール丈が正式です。色、デザイン、素材は自由ですが、バッグや靴は色や材質を揃えると、格調の高い雰囲気となります。

#### ○慶事と弔事

黒の礼服に白いネクタイを組み合わせる慶事に着用し、黒の礼服に黒のネクタイを組み合わせる弔事に着用するのは、日本独特の習慣です。

海外や国際的な行事では、慶事に普通のスーツに華やかな色合いやシルバーグレー系のネクタイを組み合わせる出席し、弔事に濃い色のスーツやダークスーツに地味な色のネクタイを組み合わせる出席します。

女性の場合、海外や国際的な行事では、慶事に華やかな色合いのデイドレスで出席し、弔事に地味な色のデイドレスを着用します。

#### ○迷ったら主催者や経験者に聞く

どのような服装を着るべきか困ったら、主催者や、過去に出席したことのある人に、率直なアドバイスを求めてみましょう。主催者の考え方や過去の例など、具体的な情報やアドバイスが役に立つことがあります。